

熱中性子散乱 W.G. 会合議事録

日時 昭和50年7月10日(木) 13:30~17:30
場所 原研東京本部 第3会議室
出席者 関谷 全 , 角谷 浩享 , 坂本 正誠 , 千原 順三
中原 康明 , 後藤 頼男

配布資料

- 1) FRANGE-II A Code to Process Thermal Neutron Data from an ENDF/B Tape
- 2) Interpolation Formula of Thermal Neutron Scattering Law in Temperature Interval

議 事

1) 文献収集

現在約2300文献くらい集っているが、この分は、計算機処理済みである。Brockhouse Bibliograph によるチェックを進めている。末回収文献カードの回収を8月中に行ないたい。

Contents が廃止になり代わりに、current contents になったが、移行間で落ちている4、5月分の Journal をチェックしなければならない。List 2 の取扱い文献数が2,000文献以内と云う制限があるうえ、古い文献も多いので、新しい文献2,000以内で編集する。計算機が60から75に移ったため Pack Unpack が使えないのでコードの整備を行なう必要があるが、古い文献の delete 機能も追加する必要がある。今後の日程は、9月中カードの整理、10月計算機処理、12月出版手続である。

2) 文献カードの Free Format 化

現在の文献カードの Format が複雑で、記入しづらい面が数多くあることが指摘された。たとえば、Journal の頭文字さえあえば良いように改

良すべきだとの意見が出された。この問題に関しては、坂本、千原が Free Format 化の仕様を 8 月中にまとめて、核データ研にコード化をお願いすることになった。

3) FRANGE-II

配布資料 1) にもとづき、FRANGE-II の計算法の説明が行われた。またこのコードに必要な熱中性子ファイルは核データ研を通して CCDN に入手依頼を行なったとの報告がなされた。

4) 散乱法則の温度内挿

資料 2) による温度内挿法の説明がなされた。FRANGE-II のラグランジュの内挿法と中原氏の内挿法による計算結果の比較が示された。

5) JENDL の熱中性子ファイル

FRANGE-II を含めて THRUSH, Uncle-Tom 重水の干渉散乱、中原氏の温度内挿法等を一括したコードシステムを作ることが決定した。

この作業にはファイルを作るためのコード(例えば GASKET の output format の変更)の作成も含まれる。8 月中に中原、後藤が仕様書を作成し 9 月に発注することが決った。また Uncle-Tom のマニュアルの出版を飯島委員に依頼することになった。

次回予定 9 月中旬